

研究課題 (テーマ)		英語実力試験結果の横断的 および縦断的な調査により 学生の「英語力」を把握する	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	英語教育改革推進チーム 教養教育センター	英語教育改革ディレクター 准教授	山崎 大介
研究結果の概要			
<p>本学では、2015年度より、工学部の1年次生などを主な対象として、4月と12月に時期を固定して英語実力試験を行うことにより、部分的にはあるが、学生の「英語力」について調査している。2019年度からは、新設された看護学部の1年次生も対象としている。</p> <p>これにより、学生の試験得点に関する変化や学科間の違いなど、さまざまな観点で学生の「英語力」というものを捉えることができるようになった。</p> <p>本調査では、TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests を採用している。 なお、試験実施の概要については、以下に示す。</p> <p>【概要】 ※ いずれの試験も富山県立大学 射水キャンパスの各教室にて実施</p> <p><工学部1年次生></p> <p>第1回目： 2021年4月5日（月曜日） 午前8時45分～10時20分</p> <p>第2回目： 2021年12月10日（金曜日） 16時30分～18時00分</p> <p><看護学部1年次生></p> <p>第1回目： 2021年4月9日（金曜日） 14時50分～16時20分 もしくは16時30分～18時00分</p> <p>第2回目： 2021年12月10日（金曜日） 14時50分～16時20分 もしくは16時30分～18時00分</p> <p>この調査における分析結果などの詳細については、以下の論文にまとめている。</p> <p>YAMAZAKI, D. (2022). Longitudinal Analyses of English Proficiency Testing Results Collected From First-Year Undergraduate Students. <i>Toyama Kenritsu Daigaku Kiyo</i> [Departmental Bulletin Paper of Toyama Prefectural University], 32, 52-58.</p>			
今後の展開			
<p>今後は、今回の分析結果を「教材」や「プログラム」などの開発やクラス編成などにも役立てることができれば良いと考える。さらに英語教育改革を推し進めることが大いに期待される。</p>			